

2020年
(令和2年)
8月18日
(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日
(毎週火曜日発行)

今号の特集
▶秋冬向け
商品施策特集 ④～⑫面
▶カゴメ
第2四半期業績 ⑮面
中部飲食料新聞社ホームページ
http://chuin.net/【業界情報発信中】



第3380号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5-18-9
電話 (052)571-7116代表
FAX (052)571-7118
東京支局
東京都中央区日本橋横山町1-4-203
電話 (03)5614-7531
FAX (03)5614-7532

大正から
食を伝えて100有余年
中部飲食料新聞

愛知県酒類卸 販売数量上半期

新型コロナで苦戦

業務用の落ち込み大きく

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

が縮小幅は4月頃と比べ、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

愛三岐卸酒販組合がまとめた令和2年上半期（1～6月）の愛知県酒類卸販売数量（大卸実績）及び小売業者販売実績は、全体で38万3391kl、前年同月比2.6%減となった。新型コロナウイルスの影響でビールなどが前年を大きく下回った。

6月単月の販売数量は前年同月比1.9%増で着地。そのうちビール類は7.7%減、ビール類以外は9.0%増となった。緊急事態宣言が解除されたことにより、落ち込んでいたビール類の減少幅が前月までの2ケタ減と比べて縮小。カテゴリー別ではスピリッツ、リキュールがRTD人気に支えられ、伸びを継続するほか、単式蒸留焼酎、甘味果実

組織再編により①意思決定の迅速化②生産性の向上③アライアンスの推進④ガバナンス強化を図る。なお、KAF社は21年度の売上収益一〇六億円、事業利益五億円を計画する。

同社は観光施設「カゴメ野菜生活ファーム富士見」長野県に隣接する畑で、生物多様性保全に配慮した農業を開始した。

森永製菓 暑い夏乗り切る提案

森永製菓は主要商品を対象に「暑い夏を乗り切るために、栄養バランスを考えた」として、生活者においしく健康な「強いカラダ」づくりを応援する提案を行っている。「inゼリー」外出機会が減りがちななか、筋力

【森永甘酒】体に優しく、夏の季節として古来より日本人に愛飲されている発酵飲料の甘酒を夏場でも提案。定番商品「森永甘酒」は、酒粕と米麹のダブルの発酵素材を使用しているのが特徴。夏場に最適な冷やし甘酒や、アルコール0%の米麹甘酒「フリーズドライ、粉末など充実した品揃えで多様なニーズにも対応

【森永甘酒】体に優しく、夏の季節として古来より日本人に愛飲されている発酵飲料の甘酒を夏場でも提案。定番商品「森永甘酒」は、酒粕と米麹のダブルの発酵素材を使用しているのが特徴。夏場に最適な冷やし甘酒や、アルコール0%の米麹甘酒「フリーズドライ、粉末など充実した品揃えで多様なニーズにも対応

街角経済

賃金は企業力次第

夏のボーナスの支給が終われば、次は年末ボーナスの支給額が気になる季節であるが、夏に続いて期待できない経済環境である。今夏のボーナスは経団連加盟の大手企業では九〇万～一四七万の支給額であったが、前年よりも2・17%減ったという。春の賃上げ率は大手企業では2・12%であった。

しかし今、「新型コロナウイルス」の感染拡大が広がり、企業の活動も「非常事態」に追い込まれている。中間決算は「コロナの影響決算」となっており、「減収減益」が多い。そして今期末決算は非常に厳しい見通しである。

こんな業績では年末ボーナスの支給どころではない。検討すれば慎重にならざるを得ない。だから現状では来春の昇給も期待は難しいのである。

そこには「企業の収益力次第」というサラリーマンの所得時代が来る。この始まりが年末のボーナスからではないか？

（大橋隆士）

このほか、食物繊維やポリフェノールが豊富な健康性を備えた冷たい牛乳にも溶けやすい商品もある（「森永ココア」、乳酸菌が手軽に摂れる「シールド乳酸菌シリアル」、希少な小麦胚芽をたっぷり使用した忙しい朝などにも最適な「小麦胚芽のクラッカー」なども提案

からだにうれしい、ごまかけ習慣

すべての人を笑顔にしたい
ShinSei

